

令和4年度第1回我孫子市総合教育会議 概 要

- 件 名／令和4年度 第1回我孫子市総合教育会議
- 日 時／令和4年7月28日（木）16：00～17：30
- 場 所／教育委員会 大会議室
- 出席者／星野市長、丸教育長、足立教育委員、蒲田教育委員、村松教育委員、
新山教育委員、山元企画総務部長、飯田教育総務部長
（教育総務課）森田課長、尾高係長
（指導課）佐々木課長、五十嵐係長
（文化・スポーツ課）辻課長
（生涯学習課）小林生涯学習部次長兼課長
（秘書広報課）岡田課長、安武課長補佐
- 欠席者／なし
- 傍聴人／なし
- 協議・調整事項

1. 志賀直哉邸跡書斎修復工事の報告と今後の展開について

令和3年9月1日から令和4年1月5日まで募集した「志賀直哉邸跡書斎クラウドファンディング事業」について、実績及び修復工事の報告、文化・スポーツ課において検討中の今後の展開などを説明し、意見交換を行った。

（意見交換）

- ・ 我孫子には多くの文化財があり、保存・修復には多額の予算が必要となるが、市の財政状況が厳しい中、ほかの事業も含めて優先順位をつけて実施せざるを得ない。今回修復した志賀直哉邸跡書斎も、以前から要望を受けていたが、なかなか着手できないままとなっていた。今回クラウドファンディングという手法により資金を確保し、修復を実現することができた。文化財は、国や県からの補助金あまり見込めない分野であり、今後も、資金確保を工夫しながら実施していければと考えている。
- ・ 今回の修復は、市内の椎名匠店にお願いをした。椎名匠店は、お神輿や水戸の東照宮の鳥居を修復するなど、この分野で県内外から高い評価を受けている。そういう方が、市内に在住し、今回の修復に携わって

くれたことがありがたいと思う。

2. つくば市立みどりの学園視察報告について

5月に教育委員会が実施したつくば市立みどりの学園の視察について、指導課より説明し、意見交換を行った。

(意見交換)

- ・ 現在、布佐中学校区で、校舎の老朽化や児童生徒数の減少という状況を踏まえ、今後の学校の適正規模や在り方について検討をいただいているが、ほかの学校区においても、校舎の建て替えや長寿命化の際には同じように検討をしていくことになる。学校区ごとの特色を踏まえて魅力的な小中一貫教育を進められるよう検討を進めてほしい。また、仮に校舎を建て替えるとした場合、ハザードマップで浸水想定区域となっているエリアでの建て替えは行わないことを前提としているので、そこも踏まえた検討をお願いしたい。
- ・ 視察先の学校では、子どもたちが生き生きと学校生活を送っていることや、将来の夢として「科学者になりたい」という子どもがいて、大変印象に残っている。
- ・ 例えば視察先の学校のカリキュラムをそのまま我孫子の学校に当てはめるのではなく、やはり、この地区でどのような教育をしていきたいか、ということを経験の皆さんと一緒に作り上げていくことが大切だと思う。そうすることが、地域の強みを生かし、特色あるカリキュラムになっていくのだと思う。
- ・ 視察先の学校で、ICT教育が充実しており、子どもたちがプログラミングを使いこなしていることに驚いた。
- ・ 先ほどもご発言があったように、ほかの地域のカリキュラムをそのまま当てはめるのではなく、布佐地区なら、布佐地区独自のカリキュラムをつくり、地域に合った教育の柱をつくっていききたいと思う。
- ・ 視察先の学校では、先生の熱意がとても印象深かった。どの先生も、熱を持って学校を紹介しており、夢や希望を感じることができた。
- ・ 布佐からは、気象学の父である岡田武松先生を輩出しており、理系の風土とも言える。そうした特色を活かしたカリキュラムをつくっていけ

ると良いと思う。

- ・ 以前、同じつくば市の春日学園を視察したことがあり、やはり、同じように先生の高い熱量を感じた。その時、このような教育を我孫子の子どもたちにも受けさせたいという思いを抱いた。
- ・ 今後機会をつくって、児童生徒数が布佐地区と同規模の小中一貫校を視察したいと考えている。
- ・ 7月25日に、布佐中学校区の学校の在り方検討委員会の第1回会議を開催し、委員からは建設的な意見が出された。今後、企画政策課とも情報交換し、理系大学との連携も視野に入れながら検討を進めていきたい。

3. 教育大綱の見直しについて

令和5年3月に満了する教育大綱について、見直しを進めていくため、見直しの趣旨や、今回の見直しにあたって考慮したい事項などを、秘書広報課より説明し、意見交換を行った。

(意見交換)

- ・ 新型コロナを契機として、1人1台端末の整備が加速し、学校に通えない状況になってもオンラインで教育を受けられるような環境が整った。ICTを活用した教育は、今後後退することはなく、より幅が広がることが見込まれる。さらに、数年後には必ず、端末の更新時期を迎える。こうしたことを踏まえると、今回の大綱の見直しで、オンライン教育に触れておく必要があると考える。文言の書き込み方は検討中であり、教育委員の皆さんからも提案をいただきながら、来年3月を目途に見直しを進めていきたい。

■その他

○ 「制服バンク」について

7月から社会福祉協議会の事業として始まった「制服バンク」について情報提供した。